

R6共同研究型 学校と地域がつながるJR西高屋駅周辺のまちづくり



1 課題

JR西高屋駅は単なる通過点として利用されており、駅周辺は空き店舗が目立っているという課題がある。

2 概要

JR西高屋駅整備工事をきっかけに、大学生さらに地域住民と学校がつながり、産官学民共同で西高屋というまちを活性化させるため、若者を主役としたまちづくり活動を行う。

大学 **市川 尚紀**
近畿大学
工学部建築学科 教授



市担当課 ×

地域振興部高屋出張所
生涯学習部生涯学習課

関係機関 ×

株式会社マエダハウジング



▲まちづくりWSによる未来予想図



▲餅つき大会



▲まちづくりWS



▲学生と地域住民の交流拠点“楽屋”

3 研究成果 市民への啓発

産官学民協働で西高屋というまちを活性化させるため、駅前通りや空き家での様々なイベント実施と、空き家DIYリノベーション、高屋情報ラウンジの家具制作、まちづくりワークショップと未来予想図の制作などを行い、高屋地域でのまちづくり活動を広く市民に伝え、関係者の気運を高めることができた。

4 今後の展望・現状 次の研究段階へ前進



- (1)歴史継承の視点：高屋に伝わる伝承「白鳥伝説」の継承方法を模索する。
- (2)防災まちづくりの視点：水災害対策は必須の要件であり、将来的にどんな取組みができるのかを検討していく。
- (3)持続可能な活動支援：長期的にまちづくりを継続していくための仕組みづくりを検討する。